

# MEPC73・第4回GHG中間会合 主な審議内容(GHG戦略関係)

国土交通省 海事局  
海洋・環境政策課

平成30年8月



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

## 主な審議項目(GHG関係)



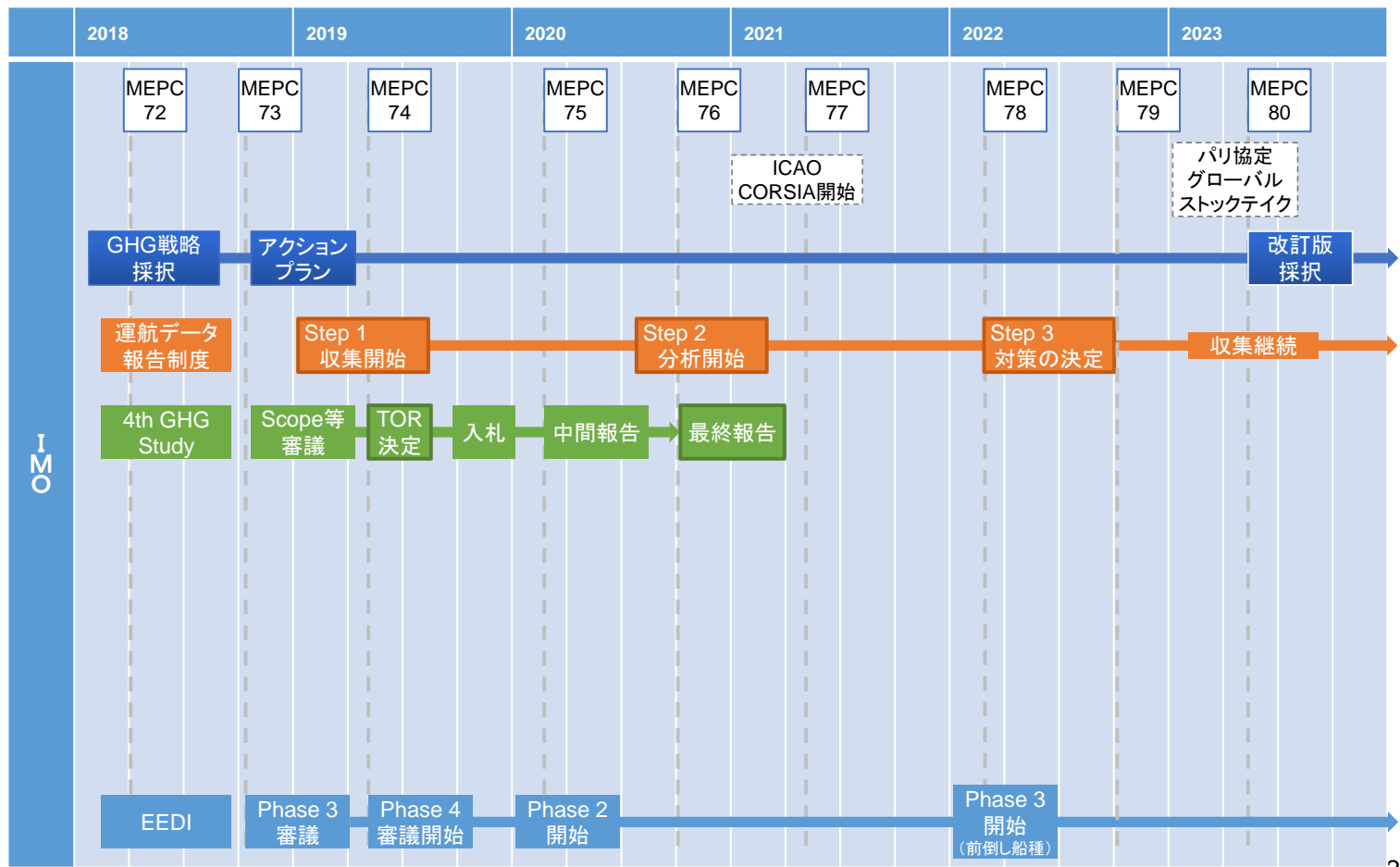
### ■第4回GHG中間会合（10月15-19日）

- GHG削減戦略フォローアップのためのアクションプランを作成。
- （必要に応じて）GHG削減策に関する更なる検討を実施。

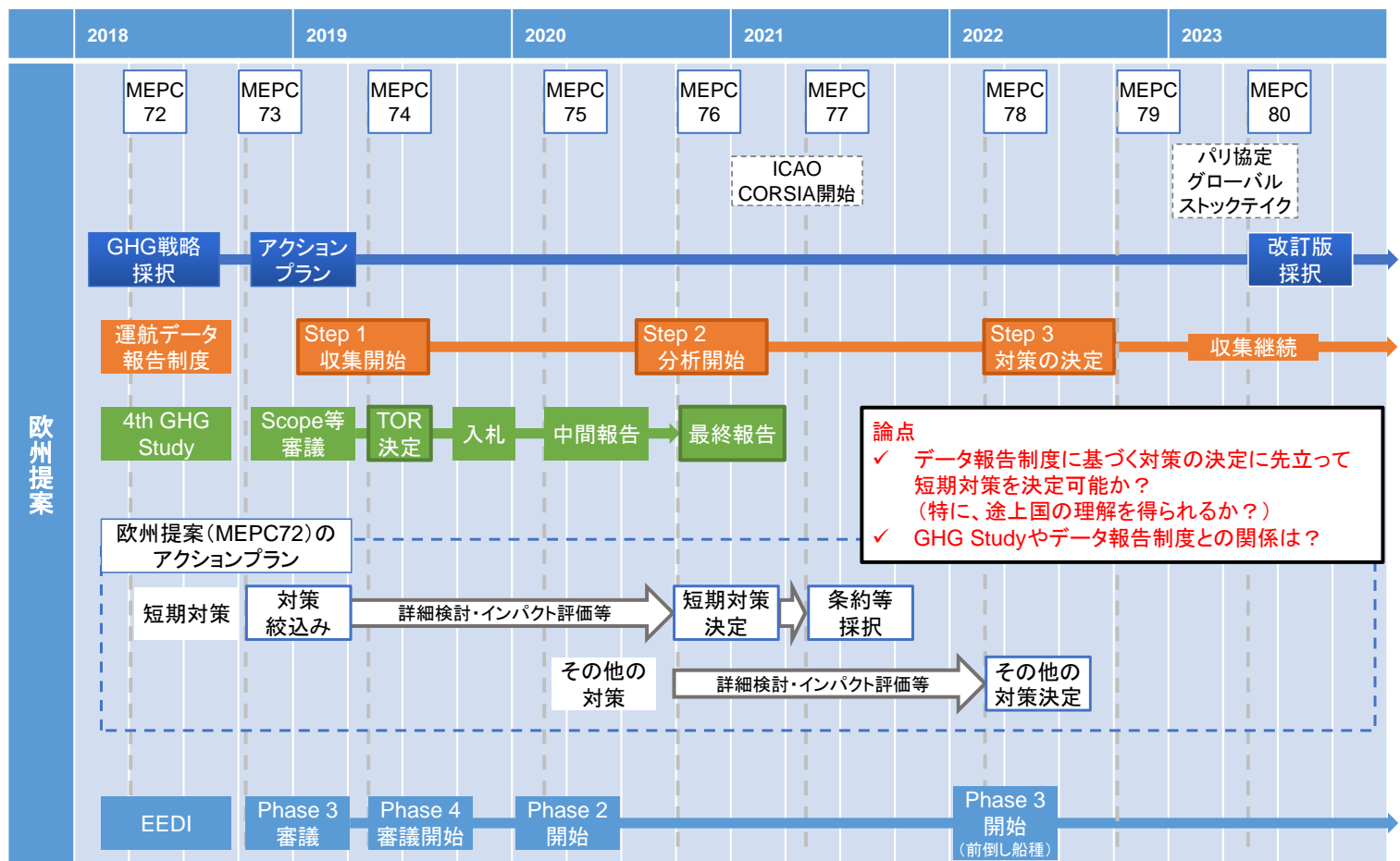
### ■MEPC 73（10月22-26日）

- 第4回GHG中間会合審議項目（上記2点）を継続審議。
- 第4次GHG Study（2019～21年に実施）の範囲を審議。
- EEDI規制フェーズ3の削減率・開始年を審議。

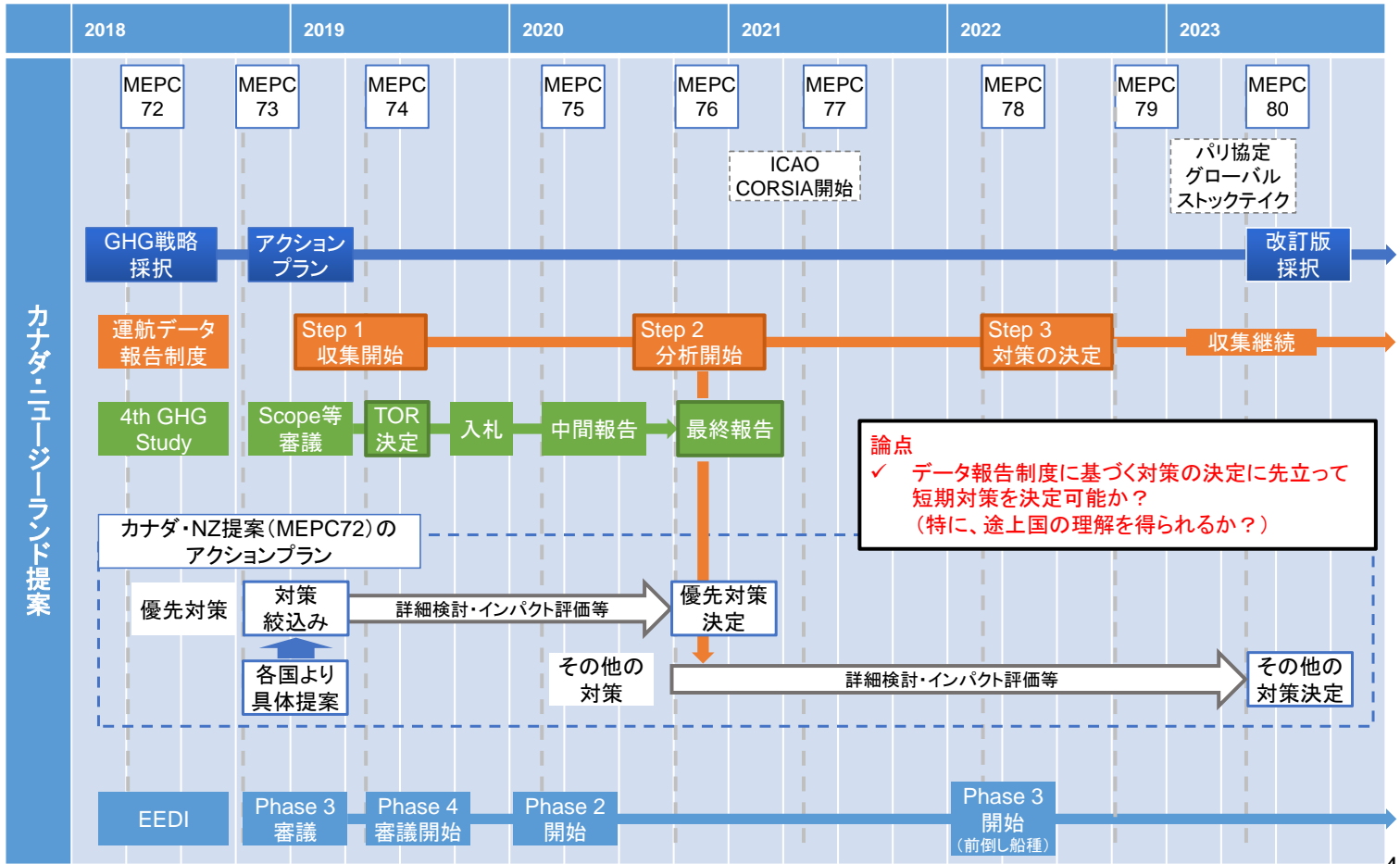
# アクションプラン①: GHG削減戦略に基づく今後の流れ



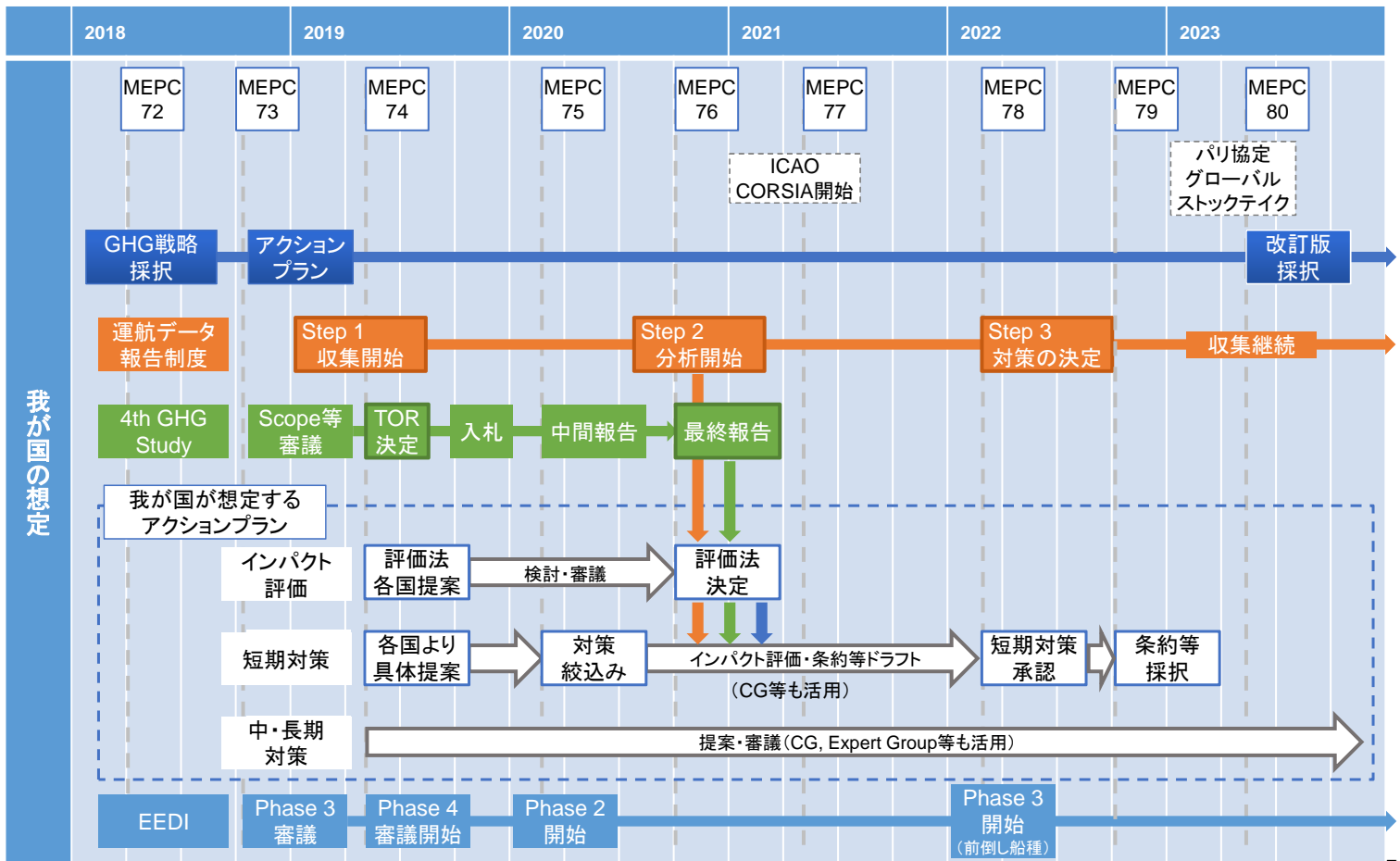
# アクションプラン②: 欧州提案 (MEPC72に提案)



# アクションプラン③：カナダ・ニュージーランド提案（MEPC72に提案）



# アクションプラン④：我が国の想定（MEPC73に提案予定）



## 【タイムライン案】

時期	項目
2018年10月 MEPC 73	スコープ審議
2019年5月 MEPC 74	入札仕様書(TOR)審議
2019年6月	入札〆切
2019年7月	入札委で提案書評価
2019年9月	入札委が評価報告書を事務局に提出
2019年10月	契約
2020年春 MEPC 75	中間報告
2020年秋 MEPC 76	最終報告

## 【スコープ案】

### <GHG排出実績調査>

- 2012-2018年の国際海運全体からのGHG排出量を試算。(ボトムアップ・トップダウン両手法を実施)
- ルート別・航海別の排出量も評価。

### <2050年までのGHG排出予測調査>

- 2018-50年の国際海運全体からのGHG排出量を、複数の経済シナリオに対応して、それぞれ予測。
- その他、予測に当たっては、以下を考慮。
  - 低炭素燃料への移行度合い
  - 限界排出削減費用(MAC)等

### 論点

- ✓ 我が国として入札に参加すべきではないか？
- ✓ ルート・航海別の排出量評価は、地域規制やルートによる差別化につながらないか？
- ✓ 低炭素燃料の世界的な供給可能性や課題を詳細に分析する必要はないか。

# EEDI規制：フェーズ3レビュー状況

## 新造船の燃費規制(EEDI規制)

- 国際海事機関(IMO)では、2013年に他モードに先駆けて先進国、途上国の別なく一律に船舶の燃費性能(CO2排出効率)を指数化して規制する国際規制(EEDI規制)を開始。

### EEDI(Energy Efficiency Design Index)規制の概要

- 新造船を対象とした規制。
- 1トンの貨物を1マイル輸送する際に排出するCO<sub>2</sub>の量を、規制値以下とすることを要求。

開始年	CO2排出量規制値
2013～(フェーズ0)	基準値
2015～(フェーズ1)	基準値から10%減
2020～(フェーズ2)	基準値から20%減
2025～(フェーズ3)	基準値から30%減

## EEDI規制のレビュー

- 条約の規定に基づき、**フェーズ3以降の規制値に関するレビューを我が国コーディネートの下で実施中。**

### 検討スケジュール

